

- 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 165頁, 2014.
- 22) 丹原 惇, ウリベ フラビオ, ナンダ ラビンドラ, 齋藤 功: 歯科矯正用アンカースクリューを用いた下顎大白歯近心移動メカニクスの有限要素解析. 第73回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 187頁, 2014.
 - 23) 北見公平, 加来 賢, 魚島勝美, 齋藤 功: 矯正歯の移動時における歯根膜中のコラーゲン修飾酵素の発現. 第73回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 197頁, 2014.
 - 24) 大倉麻里子, 大倉直人, 興地隆史, 齋藤 功: 矯正移動時のけるラット臼歯歯髄内 prostaglandin I₂受容体の発現解析. 第73回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 208頁, 2014.
 - 25) 佐藤知弥子, 八巻正樹, 工藤和子, 齋藤 功: 総合大学新入生における歯列に対する自己評価と客観的評価との関連性. 第73回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 266頁, 2014.
 - 26) 大森裕子, 森田修一, 高橋功次郎, 丹原 惇, 齋藤 功: 小白歯抜去により治療したアンクルI級上下顎前突における矯正治療前後の赤唇形態変化. 第73回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 271頁, 2014.
 - 27) 新島綾子, 丹原 惇, 北見公平, 西野和臣, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂症例における矯正歯科治療後の前歯部歯肉縁形態の評価. 第73回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 279頁, 2014.
 - 28) 竹山雅規, 福井忠雄, 小栗由充, 越知佳奈子, 中川麻里, 焼田裕里, 齋藤 功: 大白歯圧下に矯正用インプラントアンカー(仮称)が有効であった2症例. 第73回日本矯正歯科学会大会, 2014年10月20-22日, 千葉市, 抄録集: 298頁, 2014.
 - 29) 小島 拓, 加藤祐介, 長谷部大地, 高辻紘之, 倉部華奈, 齋藤 功, 小林正治: 顎変形症患者に対する顎矯正手術後アンケート調査. 第59回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2014年10月17-19日, 千葉市, 日口外誌 抄録集: 247頁, 2014.
 - 30) 小林正治, 長谷部大地, 竹山雅規, 齋藤 功: 顎矯正手術の効果が不十分であった閉塞型睡眠時無呼吸症を有する顎変形症患者の検討. 日本睡眠歯科学会第13回定期学術集会, 2014年11月8-9日, 東京, 睡眠口腔医学 1(1): 78頁, 2014.
 - 31) 西野和臣, 小原彰浩, 焼田裕里, 越知佳奈子, 寺田員人, 齋藤 功: CBCT・歯列模型三次元統合モデルを

応用した顎矯正手術前後における顔貌軟組織様相の解析. 平成26年度第2回新潟歯学会例会, 新潟市, 2014年11月8日, 抄録集: 1頁, 2014.

【研究会発表】

- 1) 朝日藤寿一: 顎裂部骨移植を行わなかった左側唇顎口蓋裂の一例 第2回口蓋裂勉強会, 東京, 2014年8月26日.
- 2) 福井忠雄: 補綴治療を回避した先天性6歯欠如症例. 第3回顎顔面包括歯科(IDT)セミナー, 仙台, 2014年12月21日.

【受賞】

- 1) Nihara J, Uribe F, Cardinal L, Nanda R, Saito I: Finite element analysis of mandibular molar protrusion with sliding mechanics and miniscrews. The 6th WIOC and 78th Annual Session of PCSO, Best Poster Award, 2014.10.2-5, Anaheim, USA.
- 2) 眞館幸平, 朝日藤寿一, 大湊 麗, 児玉泰光, 高木律男, 齋藤 功: 二段階口蓋形成法においてFurlow法を施行した口蓋裂児の顎発育-Perko法との比較-. 第38回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 優秀ポスター賞, 札幌市, 2014年5月29-30日, 日本口蓋裂学会雑誌39(2)抄録集: 190, 2014.
- 3) 齋藤 功: 甲北信越矯正歯科学会・特別功労賞, 第29回甲北信越矯正歯科学会大会, 2014年6月15日, 塩尻市.

【その他】

- 1) 八巻正樹: 歯科矯正治療のいろいろ. 阿賀町学校保健委員会総会 特別公演 2014年7月3日.
- 2) 朝日藤寿一: 歯ならびの異常と矯正歯科治療について. 北蒲原群歯科医師会主催 学校教員のための歯科講習会 新発田, 2014年11月27日.
- 3) 高橋功次郎: 上喉頭神経の両側同時刺激による嚥下反射の促進 Facilitation of the swallowing reflex with bilateral afferent input from the superior laryngeal nerve. (学位研究紹介) 新潟歯学会誌44(2): 115, 2014.
- 4) 八巻正樹, 丹原 惇: 第11章 パワーポイントを使う. 大学で学ぶための学習ガイドブック(前田健康監修, 小野和宏編集), 136-143頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2015.

摂食嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 井上 誠: 嚥下の神経機構. 特集「食べる」を考え

- る. 脳と神経第67巻第2号, 157-68, 医学書院, 2015.
- 2) 高松 潔, 小川真理子, 伊藤加代子: ドライバジャイナの検査, 診断と治療, 女性ホルモンとドライシンドローム, ドライシンドロームの基礎と臨床, メディカルレビュー社, 2014, in press.
 - 3) 渡邊賢礼: 小児の摂食嚥下機能の評価・検査・診断, 小児の摂食・嚥下リハビリテーション第2版(田角勝, 向井美恵編), 99-104, 医歯薬出版, 東京, 2014.
 - 4) 伊藤加代子, 松木貴彦: 歯科口腔領域 更年期に多くみられる口腔の症状である口腔乾燥症と舌痛症の検査法・治療法は? (日本女性医学会編), 女性医学ガイドブック, 金原出版株式会社, 248-51, 2014.
 - 5) 篠原千鶴子: 序章; 教育課程における位置づけ, 2章: 「妊婦・産婦の看護」における看護過程の授業設計, 5章; 分娩室における実習指導案, 診断にもとづく母性看護過程の授業設計(青木康子監修), 医学書院, 1-4, 13-25, 84-6, 2014.
- 【論文】**
- 1) Izuno H, Hori K, Sawada M, Fukuda M, Hatayama C, Ito K, Nomura Y, Inoue M: Relation between physical fitness and oral function in community-dwelling elderly. *Gerodontology*, in press.
 - 2) Kondoh J, Ono T, Tamine K, Fujiwara S, Minagi Y, Hori K, Maeda Y, Kreissl M, Nitschke I: Effect of complete denture wearing on tongue motor biomechanics during swallowing in edentulous older adults. *Geriatr Gerontol Int*, in press.
 - 3) Fujiwara S, Ono T, Minagi Y, Fujiu-Kurachi M, Hori K, Maeda Y, Boroumand S, Nitschke I, Ursula V, Bohlander J: Effect of Supraglottic and Super-supraglottic swallows on Tongue Pressure Production against Hard Palate. *Dysphagia* 29(6):655-62. 2014 Dec.
 - 4) Yano J, Aoyagi Y, Ono T, Hori K, Yamaguchi W, Fujiwara S, Kumakura, I, Minagi S, Tsubahara A: Sequential Coordination between Lingual and Pharyngeal Pressures Produced during Dry Swallowing. *Biomed Res Int*, in press.
 - 5) Ishihara S, Isono M, Nakao S, Nakauma M, Funami T, Hori K, Ono T, Kohyama K, Nishinari K: Mechanical uniaxial compression test of gellan gels of various fracture properties using artificial tongue and its comparison with human oral strategy for the first size reduction. *J Texture Stud*, in press.
 - 6) Tsuji K, Tsujimura T, Magara J, Sakai S, Nakamura Y, Inoue M: Changes in the frequency of swallowing during electrical stimulation of superior laryngeal nerve in rats. *Brain Res Bull* 111:53-61, 2015 Feb.
 - 7) Hori K, Hayashi H, Yokoyama S, Ono T, Ishihara S, Magara J, Taniguchi H, Funami T, Maeda Y, Inoue M: Comparison of rheological analysis and tongue pressure analyses during squeezing and swallowing of gel agents. *Food Hydrocolloids*, in press.
 - 8) Inokuchi H, M González-Fernández, Matsuo K, Martin B. Brodsky, Yoda M, Taniguchi H, Okazaki H, Hiraoka T, JB Palmer: Electromyography of Swallowing with Fine Wire Intramuscular Electrodes in Healthy Human: Activation Sequence of Selected Hyoid Muscles. *Dysphagia* 29(6): 713-721, 2014 Dec.
 - 9) Fukushima Y, Yoda T, Araki R, Murata T, Kitagawa Y, Omura K, Toya S, Funayama S, Ito K, Iwabuchi H, Asano K, Imai Y, Negishi A, Yokoo S, Matsumoto G, Kubota E, Watanabe H, Kusama M, Onizawa K, Goto T, Nakamura S, Nakazawa R, Harada K, Fujibayashi T: Evaluation of an oral moisture-checking device for screening dry mouth. *Open J Stomatol* 3(8): 440-6, 2013.
 - 10) Hamanaka-Kondoh S, Kondoh J, Tamine K, Hori K, Fujiwara S, Maeda Y, Matsumura T, Yasui K, Fujimura H, Sakoda S, Ono T: Tongue pressure during swallowing is decreased in patients with Duchenne muscular dystrophy. *Neuromuscul Disord* 24(6):474-81. 2014 Jun.
 - 11) 井上 誠: 摂食嚥下障害患者における経口摂取と口腔内環境の関係, 日本歯科医学会雑誌, 34: 98-102, 2015 .
 - 12) 伊藤加代子: お口の体操, 口腔ケアの重要性～口から始める介護予防～, 更年期と加齢のヘルスケア, 14(1): in press.
 - 13) 山崎真由美, 福田昌代: 専門英語教育にグループ制作を取り入れることの学習効果, 神戸常盤大紀 8: in press.
 - 14) 大西淑美, 井上侑香, 井上雅子, 伊藤加代子: 周期口腔機能管理による口腔環境の変化～臨床的な効果について～, 日歯衛会誌 in press.
 - 15) 設楽仁子, 手嶋謡子, 真柄 仁, 谷口裕重, 井上 誠: 口腔機能の改善が嚥下機能回復に寄与した一例. 新潟歯会誌 44 (2) : 69-74, 2014. 12.
 - 16) 小山吉人, 真柄 仁, 谷口裕重, 栗田 浩, 井上 誠: 食道癌術後に両側反回神経麻痺を認めた一例. 新潟歯会誌 44(1) : 33-6, 2014. 6.
 - 17) 伊藤加代子: ドライマウスのセルフケア～保湿剤, 唾液腺マッサージの体験～, 更年期と加齢のヘルスケア 13(1) : 145-7, 2014. 6.
 - 18) 福田昌代, 野村慶雄, 小野一男, 溝部潤子, 白銀千枝, 高柴正悟, 工藤直英子, Shiba KR: ネパール・デタール村住民の健康調査と歯周疾患罹患状況並びに歯周病原菌最近に関する調査. 神戸常盤大紀 7:

97-104, 2014, 2014. 3.

- 19) 覚嶋慶子, 林 豊彦, 道見 登, 谷口裕重, 井上 誠: 高齢者における喉頭運動の視覚フィードバックを用いた喉頭挙上訓練の効果. 日摂食嚥下リハ会誌 18(1): 22-9, 2014. 4.
- 20) 伊藤加代子: 統合医療から考えるウィメンズヘルス—更年期女性にみられる口腔症状—, 日女性医誌 21: 177-9, 2014. 4.
- 21) 伊藤加代子, 堀 一浩, 谷口裕重, 辻村恭憲, 真柄 仁, 井上 誠: 訪問歯科診療および訪問歯科診療見学実習に対する学生の意識調査, 日歯医教会誌 66: 20-7, 2014. 4.

【商業誌】

- 1) 井上 誠: あーる 21 インタビューYELL vol. 1, あーる 21Vol. 1: 6-7, 2015.
- 2) 井上 誠: 物性や栄養に偏らず, 一般の人も食べたいと思える食品を, 特集求められる介護食品とは, 月刊食品工場長, 209: 16-9, 2014.
- 3) 井上 誠: 摂食・嚥下障害のサポート—食の支援ステーションの紹介—, プロジェクト・バイオ, 生物工学, 第92巻: 593, 2014.
- 4) 井上 誠: 地域における摂食嚥下障害への取り組み, クリニカルリハビリテーション, 23 (9) : 844-51, 2014.
- 5) 井上 誠: 舌磨きクリーナーW-1 の紹介. クイッテセンス, 3(7) : 13, 2014.
- 6) 大西淑美: 周術期における口腔機能管理で私たちにできること, 歯科衛生士にできること・やるべきこと, DHstyle, 105 : 78-83, 2015. 1.
- 7) 伊藤加代子: 女性のためのドライマウス対策会議, Charle Cafe12:8-9, 2014.
- 8) 竹中彰治, 興地隆史, 伊藤加代子: 保湿系リンスの使い方は?③, DHstyle, 100 : 60-2, 2014. 9.
- 9) 竹中彰治, 興地隆史, 伊藤加代子: 保湿系リンスの使い方は?②, DHstyle, 99 : 58-61, 2014. 8.
- 10) 竹中彰治, 興地隆史, 伊藤加代子: 保湿系リンスの使い方は?①, DHstyle, 98 : 48-51, 2014. 7.
- 11) 渡邊賢礼: 食育の“今”と“今後”ジョイント4合同シンポジウムの成果と課題 保育園での取り組み—五感磨きのススメ—. 歯界展望 5月号, 980-1, 医歯薬出版, 東京, 2014.

【研究費獲得】

- 1) 井上 誠 (研究代表者): 摂食・嚥下機能に関わる中枢と末梢の制御機構. 平成 26 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究(B), 課題番号 24390431, 2014.

- 2) 井上 誠 (研究代表者): ヒト嚥下反射誘発および高次機能評価システムの構築. 平成 26 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 挑戦的萌芽研究, 課題番号 25670814, 2014.
- 3) 井上 誠 (研究分担者): 非侵襲型の嚥下誘発支援装置開発に向けた基礎的研究. 平成 26 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 課題番号 24592793, 2014.
- 4) 井上 誠 (研究代表者): 地域に根差した要介護高齢者の摂食・嚥下障害サポート体制の構築. 第 44 回(平成 26 年度)三菱財団社会福祉事業・研究助成, 2014.
- 5) 井上 誠 (主担当研究者): 複合的アプローチによる摂食機能解明を目指した国際共同研究拠点の構築. 日本学術振興会平成 26 年度頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム, 2014.
- 6) 堀 一浩 (研究代表者): 口腔・咽頭内残留の定量的評価と舌圧との関連. 平成 26 年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 24592908, 2014.
- 7) 谷口裕重 (研究代表者): 摂食過程における生体機能と食塊物性の変化を追う. 平成 26 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究(B), 課題番号 25862078, 2014.
- 8) 伊藤加代子: ドライシンドロームの有訴率および原因探索に関する研究. 平成 26 年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 25463238, 2014.
- 9) 辻村恭憲 (研究代表者): 舌機能障害が嚥下に及ぼす影響. 平成 26 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究(B), 課題番号 26870207, 2014.
- 10) 中村由紀 (研究代表者): 咽頭への味覚刺激がもたらす嚥下変調効果を発達過程から解明する. 平成 26 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 課題番号 26463108, 2014.
- 11) 中村由紀 (研究代表者): 小児の摂食・嚥下障害に対応した嚥下調整食の検討と実践へ. 平成 26 年度公益財団法人日本科学協会笹川科学研究助成, 実践研究, 研究番号 26-822, 2014.
- 12) 真柄 仁 (研究代表者): 咽頭電気刺激の嚥下誘発機構と神経・筋機構の解明. 平成 26 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究(B), 課題番号 26861630, 2014.
- 13) 渡邊賢礼 (研究代表者): 4 次元超音波エコーを用いた咀嚼時における舌の動態解析. 平成 26 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究(B), 課題番号 26861839, 2014.
- 14) 船山さおり (研究代表者): 自発性異常味覚の評価にマグネシウムは応用できるか?. 平成 26 年度科学

研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 26463182, 2014.

- 15) 小野和宏 (研究代表者), 井上 誠 (分担研究者), 谷口裕重 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者): 舌骨喉頭位と嚥下機能との関連, 平成 26 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 課題番号 24592793, 2014.
- 16) 黒瀬雅之 (研究代表者), 伊藤加代子 (分担研究者): 「渴き」への爽快感のある「潤い」は是が非か?. 平成 26 年度科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 26463181, 2014.
- 17) 弘中祥司 (研究代表者), 渡邊賢礼 (分担研究者): 未熟児の摂食嚥下機能の評価- 4 次元超音波診断装置を用いた検討-, 平成 26 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 課題番号 25463262, 2014.
- 18) 共同研究: 炭酸飲料の嚥下促進効果の検証, 2014.
- 19) 研究助成 (公財) 8020 推進財団, 2014.
- 20) 寄付金: 摂食・嚥下機能回復部における臨床研究助成, 2014.
- 21) 摂食嚥下障害者用介護用品・食具等の開発に関する研究助成. 2014.
- 22) 舌ブラシの形態・材質が舌苔除去およびブラシの付着菌数に与える影響に関する研究, 2014.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Inoue M: Development of dysphagia rehabilitation devices and their assistive performance. Society for Neuroscience Satellite symposium, Washington DC, 2014.11.14.
- 2) Inoue M: Dysphagia rehabilitation at Niigata University. ADS-ROC annual meeting, Kaohsiung, Taiwan, 2014.10.24.
- 3) 井上 誠: 咽頭粘膜への電気刺激がもたらす摂食関連の神経可塑性変化. 第 92 回日本生理学会大会, 神戸, 2015 年 3 月 21 日.
- 4) 渡邊賢礼: 保育園での食育実践. 第 20 回日本保育園保健学会, 東京, 2014 年 10 月 26 日.
- 5) 井上 誠: 嚥下困難者の食支援を考える. 第 41 回食品の物性に関するシンポジウム, 新潟, 2014 年 9 月 25 日.
- 6) 井上 誠: 口腔と咽頭の機能連関から考えること. 咀嚼研究のこれまでとこれから-臨床への道しるべとして-, 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 東京, 2014 年 9 月 6 日.

【学会発表】

- 1) Nakamura Y, Takahashi K, Arce-McShane F, Inoue M,

Ross C: Features of swallowing related parameters in a kinematic study of feeding in the macaque. The Dysphagia Research Society 23rd Annual Meeting. Chicago, USA, 2015.3.12-4.

- 2) Takahashi K, Nakamura Y, Hatsopoulos N, Ross C: Phase dynamics of beta oscillations in orofacial part of the primary motor cortex around swallowing during natural feeding behavior. The Dysphagia Research Society 23rd Annual Meeting. Chicago, USA, 2015.3.12-4.
- 3) Inoue M, Takeishi R, Hayashi H, Magara J, Tsujimura T, Watanabe M, Hori K, Taniguchi H: Effect of chewing behaviors on initiation of swallowing reflex. The Dysphagia Research Society 23rd Annual Meeting. Chicago, USA, 2015.3.12-4.
- 4) Kanda C, Nakamura Y, Hayashi H, Takeishi R, Tsujimura T, Shinoda Y, Kametani N, Okamoto T, Inoue M: Effect of carbonated water on swallowing performance. The Dysphagia Research Society 23rd Annual Meeting. Chicago, USA, 2015.3.12-4.
- 5) Tejima Y, Hayashi H, Magara J, Tsujimura T, Hori K, Taniguchi H, Inoue M: How important is oral feeding for oral health status in dysphagic patients. The Dysphagia Research Society 23rd Annual Meeting. Chicago, USA, 2015.3.12-4.
- 6) Takahashi K, Hori K, Hayashi H, Fujiu-Kurachi M, Ono T, Inoue M: Impact of Submental Neuromuscular Electrical Stimulation on Tongue Pressure and Hyoid Movement. The Dysphagia Research Society 23rd Annual Meeting. Chicago, USA, 2015.3.12-4.
- 7) Takahashi K, Nakamura Y, Hatsopoulos N, Ross C: Uncoupled dynamics of magnitude and phase of beta oscillations in Mio during feeding behavior. Society for Neuroscience, Washington DC, USA, 2014.11.18.
- 8) Inoue M, Magara J, Tsujimura T, Taniguchi H, Hayashi H: Possible Neuroplasticity of Swallow-related Neural Network. Society for Neuroscience, Washington DC, USA, 2014.11.15-9.
- 9) Tsujimura T, Tsuji K, Sakai S, Inoue M, Canning BJ: Involvement of NMDA and non-NMDA glutamate receptors in the nTS on the initiation of swallows in anesthetized guinea pigs. Society for Neuroscience, Washington DC, USA, 2014.11.15-9.
- 10) Sakai S, Tsuji K, Magara J, Tsujimura T, Inoue M: The Modulation of Transmission in the Trigeminal Nuclei and Jaw Opening Reflex Responses during superior laryngeal nerve stimulation. Society for Neuroscience, Washington DC, USA, 2014.11.15-9.

- 11) Hori K, Takahashi K, Hayashi H, Magara J, Ono T, Inoue M : Immediate Effects on Tongue Pressure and Hyoid Movement of Surface Electrical Stimulation. 4th Congress of European Society for Swallowing Disorders, Brussels, Belgium, 2014.10.25.
- 12) Minagi Y, Ono T, Hori K, Fujiwara S, Tokuda Y, Murakami K, Inoue M, Maeda Y, Sakoda S, Yokoe M, Mochizuki H : Assessment of tongue pressure and laryngeal movement during swallowing in Parkinson's disease patients. 4th Congress of European Society for Swallowing Disorders, Brussels, Belgium, 2014.10.25.
- 13) Inoue M, Magara J, Tsujimura T, Taniguchi H, Hayashi H: Effects of Pharyngeal Electrical Stimulation on Swallowing Performance. FENS, Milano, Italy, 2014.7.7.
- 14) Hori K, Hayashi H, Takahashi K, Magara J, Taniguchi H, Inoue M : Retro-nasal aroma is correlated with pharyngeal swallowing pressure. 3rd International conference on food oral processing. Wageningen, Netherland, 2014.6.29.
- 15) Funami T, Isono M, Ikegami A, Nakao S, Ishihara S, Nakauma M, Fujiwara S, Minagi Y, Hori K, Ono T : Sensory characteristics of beverages determined by in vivo measurements of swallowing. 3rd International conference on food oral processing. Wageningen, Netherland, 2014.6.29.
- 16) 井上 誠 : 咽頭粘膜への電気刺激による嚥下関連機能の神経可塑性変化. 第6回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会, 秋田, 2015年2月21日.
- 17) 井上 誠 : 咽頭粘膜への電気刺激がもたらす嚥下機能への即時および長期効果. 第38回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 福島, 2015年2月6-7日.
- 18) 本間正寿, 林 豊彦, 道見 登, 谷口裕重, 井上 誠 : 嚥下機能評価システム SFN/3A を用いた咽頭水刺激の嚥下動態に与える影響の解析. ME とバイオサイバネティックス研究会, 名古屋, 2014年12月13日, 電子情報通信学会技術研究報告(ME とバイオサイバネティックス)114 (361) : 77-82, 2014.
- 19) Shibata S, Ito K, Stegaroiu R, Tsukada S, Ohuci A : Utilization of an oral screening sheet by nurses and caregivers in an elderly nursing home: comparison with a dentist as the reference. JADR, Osaka, 2014.12.4-5.
- 20) 畑山千賀子, 溝部潤子, 御代出三津子, 白銀千枝, 澤田美佐雄, 中田直美, 高藤真理, 福田昌代, 泉野裕美, 上原弘美 : 歯科検診受診後の行動変容に影響を及ぼす健康意識の検討について. 日本歯科衛生教育学会第5回学術大会, 兵庫, 2014年11月29-30日, 日歯衛教会誌 5(2) : 140, 2014.
- 21) 渡邊賢礼, 中川量晴, 井上 誠 : 栄養面からアプロー
- チを行った在宅摂食嚥下障害患者の二例. 第31回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 仙台, 2014年11月16日, 障歯誌 35(3) : 458, 2014.
- 22) 会田生也, 林 宏和, 竹石龍右, 谷口裕重, 堀 一浩, 井上 誠 : 咀嚼がもたらす嚥下運動誘発抑制. 平成26年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2014年11月8日, 新潟歯会誌 44(2) : 130, 2014.
- 23) 竹石龍右, 真柄 仁, 谷口裕重, 林 宏和, 辻村恭憲, 堀 一浩, 井上 誠 : ヒト咽頭粘膜への電気刺激がもたらす嚥下機能の可塑性変化. 平成26年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2014年11月8日, 新潟歯会誌 44(2) : 131, 2014.
- 24) 高橋圭三, 堀 一浩, 林 宏和, 谷口裕重, 井上 誠 : 経皮的電気刺激が嚥下時舌圧・舌骨挙上・舌骨上下筋群筋活動に及ぼす即時効果. 平成26年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2014年11月8日, 新潟歯会誌 44(2) : 130-31, 2014.
- 25) 神田知佳, 中村由紀, 林 宏和, 竹石龍右, 井上 誠 : 炭酸水刺激による嚥下変調効果について. 新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2014年11月8日, 新潟歯会誌 44(2) : 130-31, 2014.
- 26) 鈴木 滋, 杉 友希, 神田知佳, 上村由紀子, 堀 一浩, 井上 誠 : 嚥下リハビリテーションが有効であったパーキンソン病を有する下顎悪性腫瘍術後嚥下障害の1例. 平成26年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2014年11月8日, 新潟歯会誌 44(2) : 132-3, 2014.
- 27) 武井啓一, 鈴木正之, 笠井隆司, 中川裕子, 古屋好美, 渡邊賢礼 : 多職種連携・協働による幼児(保育園児)への味覚(五感)教育の取り組み. 第73回日本公衆衛生学会総会, 栃木, 2014年11月7日, 日本公衛誌 581 : 61(10), 2014.
- 28) 林 宏和, 竹石龍右, 真柄 仁, 谷口裕重, 辻村恭憲, 堀 一浩, 井上 誠 : 咽頭電気刺激による嚥下機能への驚くべき効果. 日本顎口腔機能学会第53回学術大会, 松戸, 2014年10月4-5日.
- 29) 神田知佳, 中村由紀, 林 宏和, 竹石龍右, 篠田有希, 亀谷典弘, 岡本武久, 井上 誠 : 炭酸水がもたらす嚥下の変調. 日本顎口腔機能学会第53回学術大会, 松戸, 2014年10月4-5日.
- 30) 徳田佳嗣, 小野高裕, 藤原茂弘, 皆木祥伴, 村上和裕, 堀 一浩, 磯野 舞, 中尾理美, 船見孝博, 前田芳信 : ゼリーの物性がスクイーミング時の舌圧に及ぼす影響. 日本顎口腔機能学会第53回学術大会, 松戸, 2014年10月4-5日.
- 31) 酒井翔悟, 辻 光順, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠 : 上喉頭神経刺激時における開口反射と三叉神経核領域での神経伝達の変調への影響. 第56回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2014年9月26-7日,

- Journal of Oral Biosciences 56Suppl : 148, 2014.
- 32) 辻村恭憲, 辻 光順, 酒井翔悟, 真柄 仁, 井上 誠: 嚥下誘発における孤束核グルタミン酸受容体の役割. 第 56 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2014 年 9 月 26-7 日, Journal of Oral Biosciences 56Suppl : 149, 2014.
 - 33) 野澤一井上佳世子, 真柄 仁, 河野芳朗, 大峽 淳, 前田健康: ラット顎関節滑膜におけるデスミン免疫陽性 B 型および RECA-1 免疫陽性 A 型表層細胞の血管形成への関与. 第 56 回歯科基礎医学会学術大会, 福岡, 2014 年 9 月 26-7 日. Journal of Oral Biosciences 56Suppl : 193, 2014.
 - 34) 下畑享良, 谷口裕重, 中山秀章, 堀 一浩, 井上 誠, 西澤正豊: 多系統萎縮症における食道残留とその臨床的意義. MDSJ コングレス, 京都, 2014 年 10 月 2-4 日, パーキンソン病・運動障害疾患コンgresプログラム・抄録集: 99, 2014.
 - 35) 井上 誠, 竹石龍右: 咀嚼運動が嚥下反射誘発のタイミングに与える影響. 第 25 回日本咀嚼学会学術大会, 静岡, 2014 年 9 月 20 日, 日咀嚼会誌 24(2):78-9, 2014.
 - 36) 塚田しげみ, 伊藤加代子, ステガロユ・ロクサーナ, 柴田佐都子, 大内章嗣: 歯科専門職介入の必要性を判断するための看護師・介護職員向けのスクリーニング用紙の開発. 日本歯科衛生学会第 9 回学術大会, 埼玉, 2014 年 9 月 13-5 日, 歯衛会誌 9(1):104, 2014.
 - 37) 福田昌代, 椿井孝芳, 車谷和之, 村井靖子, Mansjur Nasir: 海外における患者支援システムを用いた歯科医院の実態調査 第 3 報 患者のアンケートから. 日本歯科衛生学会第 9 回学術大会, 埼玉, 2014 年 9 月 13-5 日, 歯衛会誌 9(1):144, 2014.
 - 38) 今井晴菜, 伊藤加代子, 山野井澄江, 井口寛子, 別府 茂, 秋元幸平, 田辺英児, 井上 誠: 「食の支援ステーション」来訪者のニーズ分析一疾患別にみた分析一. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 東京, 2014 年 9 月 6-7 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 396, 2014.
 - 39) 堀 一浩, 高橋圭三, 林 宏和, 谷口裕重, 井上 誠: 嚥下時舌圧の大きさは舌骨移動距離と関係する. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 東京, 2014 年 9 月 6-7 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 366, 2014.
 - 40) 古志奈緒美, 土井教子, 岩田久義, 竹内茂伸, 井後雅之, 堀 一浩: 舌接触補助床(PAP)を介して歯科と携わった在宅の摂食嚥下リハビリテーション- PAP 調整に舌圧を指標とした一例-. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 東京, 2014 年 9 月 6-7 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 387, 2014.
 - 41) 渡邊賢礼, 中村由紀, 辻村恭憲, 谷口裕重, 堀 一浩, 真柄 仁, 林 宏和, 井上 誠: 当院における小児摂食嚥下障害患者における過去 5 年間の臨床統計. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 東京, 2014 年 9 月 6-7 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 341, 2014.
 - 42) 手嶋謡子, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 真柄 仁, 谷口裕重, 堀 一浩, 井上 誠: 当院入院の嚥下障害患者と口腔環境との関係. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 東京, 2014 年 9 月 6-7 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 302, 2014.
 - 43) 林 宏和, 真柄 仁, 畠山 文, 谷口裕重, 井上 誠: 食道癌術後患者における摂食嚥下障害の臨床統計. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 東京, 2014 年 9 月 6-7 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 301, 2014.
 - 44) 椎野良隆, 塚田 徹, 井口寛子, 別府 茂, 井上 誠: 香味刺激ゼリーはこう使えばこうも変化がある. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 東京, 2014 年 9 月 6-7 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 283, 2014.
 - 45) 谷口裕重, 堀 一浩, 林 宏和, 辻村恭憲, 真柄 仁, 竹石龍右, 井上 誠: ガム咀嚼運動が嚥下反射惹起に与える影響. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 東京, 2014 年 9 月 6-7 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 259, 2014.
 - 46) 井上 誠, 竹石龍右, 谷口裕重, 堀 一浩, 真柄 仁, 林 宏和: 咀嚼時の嚥下反射抑制. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 東京, 2014 年 9 月 6-7 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 259, 2014.
 - 47) 福岡達之, 小野高裕, 堀 一浩, 齋藤翔太, 野崎園子, 児玉典彦, 道免和久: パーキンソン病患者における嚥下手技時の舌口蓋接触の特徴. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 東京, 2014 年 9 月 6-7 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 244, 2014.
 - 48) 高橋圭三, 堀 一浩, 林 宏和, 谷口裕重, 倉智雅子, 小野高裕, 井上 誠: 経皮的電気刺激が嚥下時舌圧・舌骨挙上に及ぼす影響. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 東京, 2014 年 9 月 6-7 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 236, 2014.
 - 49) 神田知佳, 中村由紀, 林 宏和, 竹石龍右, 篠田有希, 亀谷典弘, 岡本武久, 井上 誠: 炭酸水刺激がもたらす嚥下機能の変調. 摂食嚥下リハビリテーション. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 東京, 2014 年 9 月 6-7 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 218, 2014.
 - 50) 藤原茂弘, 小野高裕, 皆木祥伴, 徳田佳嗣, 村上和裕, 堀 一浩, 前田芳信: 舌圧センサシートシステ

- ムの舌接触補助床製作への応用. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 東京, 2014 年 9 月 6-7 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 214, 2014.
- 51) 竹石龍右, 真柄 仁, 谷口裕重, 林 宏和, 辻村恭憲, 堀 一浩, 井上 誠: ヒト咽頭粘膜への電気刺激がもたらす嚥下機能の神経可塑性変化. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 東京, 2014 年 9 月 6-7 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 199, 2014.
- 52) 水澤晴代, 篠原千鶴子, 安井静子, 小坂智恵子, 児玉千恵美, 谷仲圭子, 斉藤良子, 澤 万里子: 看護学生として成長につながる動機づけとなった体験—社会人経験者に焦点を当てて—第 1 報, 第 18 回日本看護管理学会, 愛媛, 2014 年 8 月 29-30 日, 日看護管理学会学術集抄録集: 262, 2014.
- 53) 小坂智恵子, 谷仲圭子, 澤 万里子, 斉藤良子, 児玉千恵美, 水澤晴代, 篠原千鶴子, 安井静子: 社会人経験のある看護師が仕事を継続していくための効果的な支援とは—都立・公社・公立 17 病院における質問紙調査結果—第 1 報, 第 18 回日本看護管理学会, 愛媛, 2014 年 8 月 29-30 日, 日看護管理学会学術集抄録集: 206, 2014.
- 54) 大西淑美, 伊藤加代子, 北村龍二, 井上 誠: 骨吸収抑制薬による顎骨壊死と口腔衛生状態との関連. 平成 26 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2014 年 7 月 12 日, 新潟歯会誌 44(2): 125, 2014.
- 55) 坂上 馨, 篠倉千恵, 福井忠雄, 堀 一浩, 齋藤 功: 個性正常咬合者と骨格性下顎前突症患者の嚥下時舌圧発現様相の特徴. 新潟歯学会第 1 回例会. 2014. 7. 12, 新潟歯会誌 44(2): 121, 2014.
- 56) 井口寛子, 林 宏和, 真柄 仁, 堀 一浩, 谷口裕重, 伊藤加代子, 井上 誠: 米飯ならびに餅食品摂取の生理学的評価. 平成 26 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2014 年 7 月 12 日, 新潟歯会誌 44(2): 120, 2014.
- 57) 酒井翔悟, 辻 光順, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 上喉頭神経刺激時の開口反射の変調とそのメカニズムの解明. 平成 26 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2014 年 7 月 12 日, 新潟歯会誌 44(2): 120, 2014.
- 58) 大平芳則, 阿志賀大和: 明倫短期大学ことばクリニック来室者データから考える今後の言語聴覚療法. 第 15 回日本言語聴覚学会, 2014 年 6 月 28-9 日, 埼玉, 言語聴覚研究 11(3): 188, 2014.
- 59) 阿志賀大和, 大平芳則: 国家試験成績と基礎学力成績, 学業成績, 実習成績との関連, 第 15 回日本言語聴覚学会, 2014 年 6 月 28-9 日, 埼玉, 言語聴覚研究 11(3): 281-282, 2014.
- 60) 谷口裕重: 長期的な嚥下訓練によって経口摂取に至った口腔腫瘍術後症例. 日本老年歯科医学会第 25 回学術大会, 福岡, 2014 年 6 月 13-4 日, 老年歯科医学抄録集: 223, 2014.
- 61) 泉野裕美, 堀 一浩, 澤田美佐緒, 福田昌代, 畑山千賀子, 野村慶雄, 重信直人, 伊藤加代子, 井上 誠: 地域在住自立高齢者における口腔機能と体力との関連, 日本老年歯科医学会第 25 回学術大会, 福岡, 2014 年 6 月 13-4 日, 老年歯科医学 29(2): 136-7, 2014.
- 62) 井口達也, 大久真衣, 杉山哲也, 石田 瞭, 藤原茂弘, 堀 一浩, 小野高裕, 柴原孝彦: 舌後方部からの水分摂取が舌圧に与える影響. 日本老年歯科医学会第 25 回学術大会, 福岡, 2014 年 6 月 13-4 日, 老年歯科医学 29(2): 109, 2014.
- 63) 谷口裕重, 堀 一浩, 林 宏和, 辻村恭憲, 真柄仁, 井上 誠: 咀嚼運動が嚥下反射に与える影響. 日本老年歯科医学会第 25 回学術大会, 福岡, 2014 年 6 月 13-4 日. 老年歯科医学 29(2): 104-5, 2014.
- 64) 磯野 舞, 石原清香, 中尾理美, 中馬 誠, 船見孝博, 堀 一浩, 小野高裕, 神山かおる: モデル舌を用いた摂食様式の評価. 第 37 回日本バイオレオロジー学会年会, 大宮, 2014 年 6 月 5 日, 日本バイオレオロジー学会誌 28(2): 54, 2014.
- 65) 高松 潔, 伊藤加代子: 抗加齢歯科医学の最前線—ドライシンドローム—ドライマウスと口腔乾燥感との関連性. 第 14 回日本抗加齢医学会, 大阪, 2014 年 6 月 6-8 日, 日本抗加齢医学会総会プログラム・抄録集: 135, 2014.
- 66) 渡邊賢礼, 武井啓一, 笠井隆司, 鈴木正之, 向井美恵, 弘中祥司: 幼児への野菜を用いた味覚(五感)教育の取組み—食と健康に関わる多職種連携・協働による食育推進事業—. 第 52 回日本小児歯科学会大会, 東京, 2014 年 5 月 16 日, 小児歯誌 52(2): 221, 2014.
- 67) 真柄 仁, 谷口裕重, 林 宏和, 竹石龍右, 辻村恭憲, 堀 一浩, 井上 誠: 咽頭電気刺激がもたらす嚥下関連機能の神経可塑性変化. 日本顎口腔機能学会第 52 回学術大会, 岡山, 2014 年 4 月 19-20 日, 日顎口腔機能会誌 21(1): 52-5, 2014.
- 68) 塚田しげみ, 伊藤加代子, ステガロコ・ロクサーナ, 柴田佐都子, 大内章嗣: 歯科専門職介入の必要性を判断するための多職種向けスクリーニング用紙の開発～介護老人福祉施設の看護師・介護職員への適用性～. 平成 26 年度新潟歯学会総会, 新潟, 2014 年 4 月 19 日, 新潟歯会誌 44(1): 57, 2014.

【研究会発表】

- 1) 井上 誠: 新潟大学医歯学病院における摂食嚥下リハビリテーションの実践—現在と未来に向けて—. 新

潟市民病院, 2015年2月10日.

- 2) 渡邊賢礼: 咀嚼機能を促す食事. 岡山大学摂食・嚥下障害研究会, 岡山, 2014年11月13日.
- 3) 井上 誠: 要介護高齢者の「食」を支える臨床と地域活動. 柏崎刈羽ケア研究会, 柏崎, 2014年11月5日.
- 4) 井上 誠: 超高齢社会において本当に必要とされる食支援とは. 第6回食の国際見本市 フードメッセ in にいがた2014, 新潟, 2014年10月31日.
- 5) 酒井翔悟, 辻 光順, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 上喉頭神経刺激がもたらす三叉神経核細胞応答の変調効果. 第8回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 2014年10月19日.
- 6) 井上 誠: 摂食嚥下リハビリテーションに関わる歯科の役割と未来に向けて. 地域包括ケアシステムの推進に向けた「第2回多職種連携に向けた勉強会」, 長岡, 2014年10月18日.
- 7) 井上 誠: 新潟大学病院における摂食嚥下リハビリテーションの実践と地域連携の実現に向けた活動. 新潟県厚生農業協同組合連合会柏崎総合医療センター勉強会, 柏崎, 2014年10月10日.
- 8) 大西淑美: 当センターにおけるオーラルケアチームの立ち上げ. 第15回関西がんチーム医療研究会, 大阪, 2014年9月13日.
- 9) 井上 誠: 歯科が摂食嚥下リハビリテーションに求められるもの. 第10回金沢口腔フォーラム, 金沢, 2014年5月11日.

【受賞】

- 1) 井上 誠, 竹石龍右: 咀嚼運動が嚥下反射誘発のタイミングに与える影響. 第25回日本咀嚼学会学術大会優秀口演賞, 静岡, 2014年9月19日.
- 2) 岸本奈月, ステガロユ・ロクサーナ, 柴田佐都子, 上松弘幸, 伊藤加代子, 塚野英樹, 林 宏和, 住谷美幸, 真柄 仁, 辻村恭憲, 中村由紀, 谷口裕重, 堀 一浩, 井上 誠, 大内章嗣: 経管栄養離脱による口腔内の水分量および微生物量の変化. 日本歯科衛生学会 学術発表奨励賞・公益財団法人ライオン歯科衛生研究所賞, 2014年9月14日.
- 3) 大西淑美: 当センターにおけるオーラルケアチームの立ち上げ. 第15回関西がんチーム医療研究会優秀演題賞, 大阪, 2014年9月13日.
- 4) 高橋圭三, 堀 一浩, 林 宏和, 谷口裕重, 井上 誠: 舌骨下筋群への経皮的電気刺激が嚥下時舌圧に及ぼす即時効果. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会奨励賞, 東京, 2014年9月6日.
- 5) 福岡達之, 野崎園子, 小野高裕, 堀 一浩, 川阪尚子, 荻野直子, 新宮正美, 児玉典彦, 道免和久:

Chin-down 肢位のバリエーションが嚥下時の舌口蓋接触に及ぼす影響. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会奨励賞, 東京, 2014年9月6日.

- 6) 新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野: 食べるあなたと測るわたしー食べる機能はこうやって測る・治すー. FOOMA JAPAN2014 アカデミックプラザ AP 賞, 東京, 2014年6月10-3日.
- 7) 真柄 仁, 谷口裕重, 林 宏和, 竹石龍右, 辻村憲法, 堀 一浩, 井上 誠: 咽頭電気刺激がもたらす嚥下関連機能の神経可塑性変化. 第52回日本顎口腔機能学会学術大会優秀賞, 岡山, 2014年4月20日.

【その他】

- 1) 伊藤加代子: 介護認定審査会委員の役割, 新潟市歯科医師会・介護認定審査会委員のための研修会, 新潟, 2015年3月25日.
- 2) 伊藤加代子: 口腔機能の改善で介護予防, 平成26年度在宅保健師等研修会, 新潟県国民健康保険団体連合会, 新潟, 2015年3月23日.
- 3) 大西淑美: 口腔ケアの基礎知識と技術. 関西電力病院職員研修, 大阪, 2015年3月16日.
- 4) 大西淑美: これからの歯科衛生士に期待すること. 新大阪歯科衛生士専門学校特別講義, 大阪, 2015年3月4日.
- 5) 井上 誠: ヒト嚥下機能にもたらす口腔・咽頭刺激の効果. 昭和大学歯学部大学院セミナー, 東京, 2014年12月4日.
- 6) 井上 誠: 食べること・飲み込むこと. 新潟大学公開講座, 三条, 2014年12月2日.
- 7) 井上 誠: 嚥下障害専門医育成に向けた取り組み報告. にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会第2回講演会, 新潟, 2014年11月30日.
- 8) 井上 誠: ヒト嚥下機能にもたらす口腔・咽頭刺激の効果. 九州大学歯学部大学院セミナー, 福岡, 2014年11月25日.
- 9) 辻村恭憲: 摂食嚥下障害の評価と対応. はまぐみ療育医療センター, 新潟, 2014年11月25日.
- 10) 大西淑美: がんとうまくつきあうために～がん治療における口腔ケア～. 大阪府立成人病センター看護セミナー, 大阪, 2014年11月25日.
- 11) 大西淑美: チームでかかわる口腔ケア. 第7回日本口腔ケア協会学術大会ランチョンセミナー, 大阪, 2014年11月23日.
- 12) 堀 一浩: 要介護高齢者に対する補綴治療. 東京医科歯科大学歯学部大学院セミナー, 東京, 2014年11月14日.
- 13) 大西淑美: 自分でできる口腔衛生. 第66回成人病公

開講座，大阪，2014年11月11日。

- 14) 大西淑美：続・おさえておきたい口腔ケアのポイント。第2回大阪府立成人病センター口腔ケア研修，大阪，2014年10月31日。
- 15) 大西淑美：臨床で使える有病者の口腔ケア。甲南加古川病院職員研修，兵庫，2014年10月27日。
- 16) 辻村恭憲：安全でおいしい「食」支援。第4回新潟大学歯学祭 健康相談教室，新潟，2014年10月25日。
- 17) 辻村恭憲：美味しく安全な食支援。新潟病院，新潟，2014年10月24日。
- 18) 伊藤加代子：健口くんとボタンプルについて。はびすまカフェ，新潟大学歯学部同窓会，新潟，2014年10月19日。
- 19) 井上 誠：摂食嚥下機能障害。うおの園食事会，にいがた摂食嚥下障害サポート研究会主催出前講座介護食食事・研修会，魚沼，2014年10月12日。
- 20) 井上 誠：要介護高齢者の「食」を考える。歯科保健推進健康支援新潟市議会議員連盟勉強会，新潟，2014年10月2日。
- 21) 伊藤加代子：口腔ケアの実践について。平成26年度下越地区口腔ケア研修会，五泉，2014年9月30日。
- 22) 大西淑美：誤嚥性肺炎予防のための効果的な口腔ケア。2014年医療・介護福祉食品展示会・セミナー，福岡，2014年9月28日。
- 23) 谷口裕重：食から考える健康寿命。健康シンポジウム，新潟，2014年9月27日。
- 24) 大西淑美：チームでかかわる口腔ケア。第2回国際交流セミナーin大阪，大阪，2014年9月14日。
- 25) 伊藤加代子：あなたのお口，乾いていませんか？。鏡淵ふれあい健康大学健幸づくり講座，新潟，2014年9月14日。
- 26) 井上 誠：摂食嚥下リハビリテーションに携わる歯科への期待。日摂食嚥下リハ会誌，18(2)巻頭言：111-2，2014。
- 27) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会，ばりあふり～お食事会，新潟，2014年8月23日。
- 28) 井上 誠：新潟大学歯学部オープンキャンパス，新潟，2014年8月11日。
- 29) 井上 誠：摂食嚥下障害とその治療。新潟高校課題研究，新潟，2014年8月6日。
- 30) 井上 誠：多職種連携で「食」を支えるために。東新潟特別支援学校夏季職員研修，新潟，2014年8月1日。
- 31) 大西淑美：お口から健康を考えよう。大阪府立成人病センター糖尿病教室，大阪，2014年7月31日。
- 32) 辻村恭憲，林 宏和，酒井翔悟：歯科専門職のため

の吸引テクニックセミナー，テクノスクール，新潟，2014年7月26日。

- 33) 大西淑美：プレゼンテーション能力を向上させよう。兵庫県歯科衛生士会卒後研修アドバンスコース，兵庫，2014年7月20日。
- 34) 谷口裕重：嚥下障害による事故を防止するための介助方法。摂食嚥下障害に関する支援研修会，新潟，2014年7月17日，10月21日，11月11日，12月9日。
- 35) 井上 誠：摂食嚥下の実際。新潟県歯科医師会認定障害者診療医養成事業研修会，2014年7月13日。
- 36) 井上 誠：嚥下内視鏡検査登録医育成に向けた取り組み。第1回にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会，新潟，2014年5月25日。
- 37) 高橋堅護：嚥下内視鏡検査登録医育成に向けた取り組み。第1回にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会，新潟，2014年5月25日。
- 38) 大西淑美：頭頸部がん患者の口腔ケアについて歯科（オーラルケア科）でできること。大阪府立成人病センター職員研修，大阪，2014年4月25日。

硬組織形態学分野

【著書】

- 1) Ohshima H: Dental and Oral Biology, Anatomy. In: Reference Module in Biomedical Sciences. Massachusetts: Academic Press; 2014.

【論文】

- 1) Ohshima H: Oral Biosciences: The annual review 2014. J Oral Biosci 57(1): 1-8, 2015.
- 2) Saito K, Kenmotsu S, Nakatomi M, Ohshima H: Allogenic tooth transplantation inhibits the maintenance of dental pulp stem/progenitor cells in mice. Cell Tissue Res 356(2): 357-367, 2014.
- 3) Ida-Yonemochi H, Nakatomi M, Ohshima H: Establishment of in vitro culture system for evaluating dentin-pulp complex regeneration with special reference to the differentiation capacity of BrdU label-retaining dental pulp cells. Histochem Cell Biol 142(3): 323-333, 2014.
- 4) Maruyama S, Itagaki M, Ida-Yonemochi H, Kubota T, Yamazaki M, Abe T, Yoshie H, Cheng J, Saku T: Perlecan-enriched intercellular space of junctional epithelium provides primary infrastructure for leucocyte migration through squamous epithelial cells. Histochem Cell Biol 142(3): 297-305, 2014.